

# 町政のことが知りたいたい！ 平成二十五年度決算調査

総務・民生文教・産業建設常任委員会

平成25年度決算調査は、9月10日から12日までの3日間、各常任委員会に分かれ開催されました。それぞれの事業について予算の適正性、行政執行の妥当性など、今後の予算編成や行政運営につながる活発な意見が出されました。

## 民生文教常任委員会

### 〔国民健康保険証〕

Q (山崎議員) 国民健康保険の短期被保険者証と被保険者資格証明書の過去3年間の交付状況。

A (住民課) 短期被保険者証は、有効期限が3箇月と6箇月とあり、悪質な滞納者に対し資格証明書を発行しています。過去3年間の交付状況は、23、24、25年度の短期被保険者証は487世帯、465世帯、447世帯であり、資格証明書が181世帯、187世帯、164世帯で減少傾向にあります。税の公平性から納得の得られるものではなく、税務課と協力し、



収納率向上におお一層努力してまいります。

### 〔社会福祉協議会運営費補助事業〕

Q (鈴木克征議員) 社会福祉協議会運営費補助事業について、地区社協の積極的な活動で非常に成果があったと伺っているが、運営費の決算内訳は。

A (福祉課) 人件費3315万3183円、事務所警備清掃分49万3194円、地区社会福祉協議会活動費として270万円です。

### 〔看護師の給与〕

Q (鈴木克征議員) 看護師の給与が近隣等と比較して安いと聞いたが。

A (東陽病院) 看護師の初任給は県下15国保病院の中で最下位です。ほかの医療職についても准看護師を除き最低レベルです。看護師の確保は医業収益を上げる一つの要因ですので、現在、来年に向け町長等とも協議をしています。

### 〔子宮頸がんワクチン〕

Q (川島富士子議員) 子宮頸がんワクチンの副作用

は。

A (健康管理課) 当町で接種後の副作用の報告はありません。

### 〔住民健診〕

Q (川島富士子議員) 基本健康診査事業のクレアチニン検査が、平成24年度319名実施に対し、平成25年度は3412名実施が増えた理由は。

A (健康管理課) 24年度は健診時、尿検査で蛋白が出た人のみクレアチニンを実施していたが、25年度は慢性腎臓病予防(人工透析等の重症化予防)のため、受診者全員にクレアチニン検査とeGFR(推算糸球体濾過量)を実施し予防に努めました。

### 〔敬老会事業〕

Q (杉森議員) 敬老会参加者が対象者の9%といった状況で今後の方向性があれば教えていただきたい。

A (福祉課) 事業効果の面においては検討の余地があり、参加率が高い社会福祉協議会の事業に組み込んで地区ごとにミニ敬老会を行うのも一つの方法ではないかと考えており、協議し

て来年度の予算要求に臨んでいこうと考えております。

### 〔児童クラブ〕

Q (杉森議員) 児童クラブで滞納問題が発生しています。それに伴い不納欠損はどうするのか、といった問題も起こります。担当課では改正するために制度改正を行うとのことでしたが、そのことについて伺います。

A (教育課) 滞納関係と不納欠損のあり方の検討を開始しました。私債権であるので時効の援用、債務者側が時効を申し出ない限り時効援用はあり得ないと思います。よく研究して手続きに関するルールを定めなければと思っております。

### 〔町立図書館の利用状況〕

Q (齋藤議員) 図書館における図書の貸出冊数と入館者数が横ばいである。

A (社会文化課) ギャラリーの年間回数は、今年度4回に減りましたが、その分1回の期間を長く取っている。町内のいろんな方に見ていただきたい文化財、芸術関係のものが沢山あるので、今後開催スケジュールなどはギャラリー運営委員会があるので、意見を聞きながら実施していきたい。



ギャラリーの実施については、好評を博しての長期間実施もあると思うが、年間回数を増やして、町の文化芸術等を広め、アピールしてほしい。

## 産業建設常任委員会

### 〔農業振興対策〕

Q (五木田議員) 米価が下落する中、休耕地対策、

後継者育成、規模拡大の推進について町としてどう考えているか。



**【A】**（産業振興課）農業者に経営所得安定対策について説明会を開催し、加入を推進したい。同時に農地中間管理機構についても周知、活用により集落単位の営農や個別農家の規模拡大を推進したい。大総地区は基盤整備が進んでおらず、狭小な区画や用排水路の未整備などが耕作放棄の一因となっている。集積することで畦畔の撤去が可能である程度の大区画化が図られるため、推進が必要と考

**【地産地消推進】**

**【Q】**（浅野議員）地産地消の推進事業において、補助を受けている団体とそうでない団体とで不公平感があります。公平感をもって推進して頂きたい。地産地消推進の最大事業は産業まつ

りであり、さらに大々的に実施してはどうか。

**【A】**（産業振興課）産業まつりは産業振興課以外の職員も動員する為、人的対応が難しい。

**【海水浴場】**

**【Q】**（浅野議員）海水浴場開設の費用対効果に疑問があります。

**【A】**（産業振興課）実際に地元へ還元されているとは言い難く、今後はニーズに合った海岸利用を関係機関と協議したい。

**【農政の助成・補助】**

**【Q】**（鈴木和彦議員）平成25年度の決算内容を見ると、前年度と大きく変わっていないと感じられる。予算については、農政は助成・補助が主だと理解している。農業は気候や社会情勢など、外的要因が影響す

る部分が大きく補助頼みとなってしまう。米価が大きく下落する中、農業者が意欲を持って取り組めるような実情に見合ったメリハリある予算配分の検討をお願いしたい。

**総務常任委員会**

**【地下水調査】**

**【Q】**（八角議員）昨年、横芝地区と光地区で地下水調査を実施しているが、調査を行ったお宅への結果の報告等はしているのか。

また、人体に影響があると聞いているが、その内容と対応策についてはどうか。

**【A】**（環境防災課）地下水調査は、県の委託業務で硝酸性窒素、亜硝酸性窒素による汚染状況調査です。

基準を超えているお宅には、地下水に硝酸性窒素等が基準を超えて含まれている旨の周知は行っており、水道水の利用をいただけるよう話しております。

また、人体への影響については、硝酸性窒素等が体内に入ると、メトヘモグロ

**【A】**（産業振興課）今年度の米価では厳しいという相談はあった。今後は生産原価、コストの削減、圃場整備、省力化が重要と認識している。

ビン血症によるチアノーゼ状態になり、大人の場合は、あまり影響がありませんが、特に小さい子供に対して影響が大きいこのことです。

今後、県と協議して地元などのような形で対策を講じるのか、検討する段階であります。

**【不法投棄】**

**【Q】**（川島透議員）不法投棄の状況は。

**【A】**（環境防災課）平成24年度末で町内15箇所、平成25年度で新たに3箇所あります。うち、1箇所は解決済みで、業者を特定し撤去させました。今年度も新たに2箇所あり、県や警察と協力し解決の見通しです。

種類としては建物の廃材、建設廃材が主なものです。

最近手口が巧妙なため特定が難しくなっておりますが、県や警察へ強く要請し不法投棄がされない町をめざし努力してまいります。

**【合併処理浄化槽・太陽光発電設備導入補助事業】**

**【Q】**（若梅議員）合併浄化槽設置事業及び住宅太陽光発電設備導入促進事業の実績と申し込みの状況は。

**【A】**（環境防災課）合併浄化槽設置補助金については、9月末で受付は終了しました。住宅太陽光発電設備補助金については、12月頃で受付終了しました。今後基数を増やしていく必要があると考えます。

**【航空機騒音】**

**【Q】**（若梅議員）航空機騒音測定事業の委託料についての算定基準は。

**【A】**（空港対策室）航空機騒音測定事業については、前年度より2ヵ所増やし、30か所で夏冬2回実施しています。委託料については、成田国際空港振興協会の算定基準によります。

**【人事考課制度】**

**【Q】**（森川議員）職員の人事考課制度を導入するよう

であるが仕組みはどのようなものか。

**【A】**（総務課）業績考課と能力考課があり上司が部下という仕組みで段階的に

**【収納事務】**

**【Q】**（森川議員）過誤納返還金はなぜ発生したのか。

**【A】**（税務課）源泉徴収票と同様なものが事業所から町に届くが、更正の決定通知のあった日の翌日の一か月後を還付加算日の起算日とすることになっている。また二重納付等の誤納による還付加算金は納付翌日を起算日とする。このような更正事由による起算日の違いにより加算金額の不足等が生じてしまう。

**【町民サービスセンター】**

**【Q】**（森川議員）サピア内町民サービスセンター職員配置は。

**【A】**（税務課）原則、住民課、税務課から1名ずつである。納税金額も時期により取扱額に差がありセキュリティには十分留意していく。





秋の  
スナツプ



議会を傍聴しませんか

12月定例会は、12月5日(金)から開催される予定です。  
議会開会中は傍聴することができます。是非おいでください。  
開催日、内容など詳しくは議会事務局へお問い合わせください。

☎ 84-11246 (直通)



編集後記

朝夕は冷え込むようになり、秋の深まりを実感する季節になりました。9月議会は平成25年度の決算議会になりました。4名の議員による一般質問と3常任委員会による決算調査が3日間にわたりに行われ、しっかりと議会として、また町のチェック機能として活動しております。そこで、このような議会活動を住民の皆様に発信することのできる一番身近な情報発信手段が「議会だより」であります。今後更に透明性があり、見やすく、親しみやすくなるよう広報委員会を中心として努力してまいります。

さて、いよいよ現職としてあと半年余りの任期となりました。残された期間を横芝光町の発展・町民の幸せのために全力で取り組んでいかなければと強く思います。

広報委員 杉森 幹男